

- 56.482 □ 2.65283 E □ 02 □ □ □ 1.48 □ 0.5862 E □ 04

上の例のように

- (f) 出力のF変換に対しては、内部表現に  $10^n$  を掛けた値が出力される。
- (g) 出力のE変換またはD変換に対しては、基本実定数に  $10^n$  を掛け、指数はnだけ減じられる。  
この場合には、値そのものに変化はない。

### 10-3 改行制御

高速度印刷装置（ラインプリンター）上に結果を印刷する場合は、記録の最初の文字は紙送り制御用文字に使用され、印刷はされない。紙送り制御用文字は次の4種類である。

| 制御用文字 | 形式  | 例                   | 印刷前の紙送行数         |
|-------|-----|---------------------|------------------|
| □     | 1H□ | FORMAT(1H□, I5, ……) | 1行（行はあかない）       |
| 0     | 1H0 | FORMAT(1H0, I5, ……) | 2行（1行間隔）         |
| +     | 1H+ | FORMAT(1H+, I5, ……) | 0行（前の行に重ねて印刷）    |
| 1     | 1H1 | FORMAT(1H1, I5, ……) | 次の頁の最初の行まで送る（改頁） |

### 10-4 書式制御

- (1) 入出力並びの要素と欄記述子との対応

入出力並びの要素とFORMAT文中に書かれた欄記述子とは、書かれた順に対応する。

ただし、H変換、X変換に対応する入出力並びの要素はない。

〔例〕

```

COMPLEX A
WRITE(6, 20) I, A
20 FORMAT(1H0, 5X, I10, 4H □ A=□, 2F12.5)
    
```

対応する並びの要素なし

- (2) 入出力並びと記録

入出力並びの要素の個数とFORMAT文中に書かれた欄記述子の個数とが同じでない場合は、入出力並びの個数によって、入出力される記録の個数が決まる。

〔例〕

```
15 FORMAT(I5, F10.5, E12.6)
```

このようなFORMAT文で次のREAD文を実行した場合を考えてみる。